

<p>内令第七九九號</p> <p>右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル</p> <p>第三十二號海防艦</p> <p>佐世保鎮守府在籍</p> <p>第三十二號海防艦</p> <p>右警備海防艦ト定メラル</p> <p>第六十三號驅潛艇</p> <p>右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル</p> <p>佐世保鎮守府在籍</p> <p>第六十三號驅潛艇</p> <p>昭和十九年六月三十日</p> <p>海軍大臣</p>	<p>内令第八〇〇號</p> <p>右本籍ヲ大湊警備府ト定ム</p> <p>昭和十九年六月三十日</p> <p>海軍大臣</p> <p>第九十二號驅潛特務艇</p> <p>昭和十九年六月三十日</p> <p>海軍大臣</p>	<p>内令第八〇一號</p> <p>昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス</p> <p>昭和十九年六月三十日</p> <p>海軍大臣</p>
<p>大湊警備府ノ項驅潛特務艇ノ欄「第八十一號(大)」ノ次ニ「第九十二號(大)」ヲ加フ</p> <p>(内令提要卷三、四八ノ二頁参照)</p>	<p>内令第八〇二號</p> <p>特設艦船部隊令中左ノ通改正セラル</p> <p>昭和十九年七月一日</p> <p>海軍大臣</p> <p>第二條第二號中「特設潛水艦基地隊」ノ次ニ「特設特別基地隊」ヲ加フ</p> <p>第十四章ノ三ヲ第十四章ノ四トシ第十四章ノ四ヲ第十四章ノ五トス</p> <p>第六十一條ノ四ヲ第六十一條ノ十七トシ以下第六十一條ノ六迄順次繰下シ</p> <p>第十四章ノ三トシテ左ノ一章ヲ加フ</p> <p>第十四章ノ三 特設特別基地隊</p> <p>第六十一條ノ四 特設特別基地隊ハ所要ノ地ニ之ヲ置キ第一特別基地隊、第二特別基地隊等ト呼稱ス</p> <p>第六十一條ノ五 特設特別基地隊ハ特種兵器ノ使用及其ノ教育訓練ニ關スルコトヲ掌ル</p> <p>前項ノ外必要ニ應ジ特種兵器ノ實驗研究及調査ヲ行フコトヲ得</p> <p>第六十一條ノ六 特設特別基地隊ニ必要ニ應ジ艦船部隊又ハ特</p>	<p>昭和十九年六月三十日</p> <p>海軍大臣</p>

内令

九四七

1687

設艦船部隊ヲ附屬ス  
第六十一條ノ七 特設特別基地隊ニ左ノ職員ヲ置ク

司令官

副長

參謀

修補長

軍醫長

主計長

分隊長

隊附

前項ノ職員ハ場合ニ依リ其ノ一部ヲ置カズ

第六十一條ノ八 司令官ハ所屬長官ニ隸シ部下ヲ統率訓練シ軍紀風紀ヲ維持シ隊務ヲ總理ス

第六十一條ノ九 司令官ハ第六十二條ノ五第二項ノ規定ニ依リ

特種兵器ノ實驗研究及調査ノ實施ニ關シ同一地ニ在ル海軍工廠長ニ協力ヲ求ムルコトヲ得

第六十一條ノ十 司令官ハ部下ノ兵力ヲ分派スルトキハ其ノ首席ノ指揮官ヲシテ指揮ヲ掌ラシメ自己ノ職權内ノ事ヲ之ニ委任スルコトヲ得

第六十一條ノ十一 潜水艦基地隊令第七條及第八條ノ規定ハ司令官ニ之ヲ準用ス

第六十一條ノ十二 副長ハ司令官ヲ輔佐シ隊務ヲ整理シ隊員ノ服務ヲ監督ス

第六十一條ノ十三 參謀ハ司令官ノ命ヲ承ケ艦隊令中當該職員ニ關スル規定ニ準ジ服務ス

第六十一條ノ十四 修補長ハ司令官ノ命ヲ承ケ修補科員ヲ監督シ戰鬥ニ當リ其ノ指揮ヲ執リ特種兵器其ノ他諸物件ノ修補ニ關スルコトヲ擔任シ之ヲ教育訓練ヲ掌リ主管ノ諸物件ヲ整備シ特種兵器ノ實驗研究及調査ニ任ズ

第六十一條ノ十五 軍醫長、主計長及分隊長ハ司令官ノ命ヲ承ケ潜水艦基地隊令中當該職員ニ關スル規定ニ準ジ服務ス

前項ノ外兵科分隊長ハ司令官ノ指示ニ從ヒ特種兵器ノ實驗研究及調査ニ任ズ

第六十一條ノ十六 隊附ハ司令官ノ指定ニ依リ上官ニ屬シ其ノ命ヲ承ケ服務ス

(内令提要卷一、六〇頁參照)

内令第八〇三號

特設海軍航路部等ノ所管、所屬、名稱及所在地ノ件申左ノ通知正セラル

昭和十九年七月一日

海 軍 大 臣

附則第二項及第三項ヲ左ノ如ク改メ第六項及第七項ヲ削ル  
當分ノ開本令各部所屬ノ司令長官ハ同所ニ在ラザル本令各部ノ長(支部長、支廠長、分院長及分工場ニ勤務スル首席職員ヲ含ム)ヲシテ其ノ業務ニ關シ當該方面ニ在ル他ノ司令長官

<p>ノ指揮ヲ承ケシムルコトヲ得 (内令提要卷一、三八ノ四〇ノ一頁参照)</p>	<p>内令第八〇四號 艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス 昭和十九年七月一日 海軍大臣 軍艦、航空母艦ノ部中雲龍型ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ 信濃 (内令提要卷三、三三頁参照)</p>	<p>内令第八〇五號 海軍機密書類取扱規則中左ノ通改正ス 昭和十九年七月一日 海軍大臣</p>	<p>第四條 第一項第七號中「水路」ノ下ニ「航空及氣象」ヲ加フ 第十二條中「水路部、」ノ下ニ「海軍氣象部、」ヲ加フ 内令第八〇六號 海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地ノ件中左ノ通改正セラル 昭和十九年七月一日</p>	<p>左ノ地ニ海軍航空隊分遣隊ヲ置ク部中「鹿兒島海軍航空隊小富士分遣隊」ヲ「福岡海軍航空隊小富士分遣隊」ニ改ム (内令提要卷一、三〇ノ三九頁参照)</p>	<p>内令第八〇七號 特務艇類別等級別表中左ノ通改正ス 昭和十九年七月一日 海軍大臣 特務艇、魚雷艇第十號型ノ項中「第十號、」ヲ削ル (内令提要卷三、四三頁参照)</p>	<p>内令第八〇八號 潛水隊編制中左ノ通改定セラル 昭和十九年七月一日 海軍大臣 第十九潛水隊ノ項中「伊號第五百十九」ノ下ニ「伊號第六百六十二」ヲ加フ 第三十三潛水隊ノ項中「呂號第五百」ヲ削ル (内令提要卷一、七〇頁参照)</p>	<p>内令第八〇九號 吳鎮守府練習兼警備潛水艦 呂號第五百潛水艦</p>
--	---	---	--	---	---	---	--

内令

九四九

1689

右警備潜水艦卜定メラル

佐世保鎮守府警備潜水艦

伊號第六十二潜水艦

右練習兼警備潜水艦卜定メラル

昭和十九年七月一日

海軍大臣

内令第八一〇號

昭和十九年内令第四百三十九號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年七月一日

海軍大臣

第一魚雷艇隊ノ項中ニ

横須賀鎮守府

243  
248  
252  
253

第12  
第17  
第23  
第24  
第25  
第26

ヲ加フ

第三魚雷艇隊ノ項中ニ

横須賀鎮守府

241  
242  
244  
246  
247  
249  
250  
251

第10  
第11  
第13  
第14  
第15  
第16  
第18  
第19  
第20  
第21

ヲ加フ

第十一魚雷艇隊ノ項中「10」ヲ削ル

第十二魚雷艇隊ノ項中ニ

吳鎮守府

第51  
第52  
第53  
第54  
第55  
第56  
第57  
第58  
第60  
第61  
第62  
第63  
第64  
第67  
第68  
第69  
第70  
第71  
第72

ヲ加フ

第二十五魚雷艇隊ノ項中ニ

佐世保鎮守府

457  
458  
460  
461  
462  
463  
464  
465  
466  
467  
482  
483  
481  
485  
486  
487  
488  
494  
801  
802  
803  
804

ヲ加フ

(内令提要卷三、四八ノ二七頁参照)

内令第八一一號

第十號魚雷艇

右本籍ヲ横須賀鎮守府卜定メタル處之ヲ解ク

昭和十九年七月一日

海軍大臣

<p>内令第八一二號 海軍工廠ニ置ク所要ノ部ノ件中左ノ通改正セラル 昭和十九年七月一日 海軍大臣 「光海軍工廠及佐世保海軍工廠」ヲ「廣海軍工廠、光海軍工廠、佐世保海軍工廠及舞鶴海軍工廠」ニ改ム (内令提要卷一、三〇ノ二ノ四頁参照)</p>	<p>内令第八一三號 第二十五號海防艦 右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル 佐世保鎮守府在籍 第二十五號海防艦 右警備海防艦ト定メラル 昭和十九年七月二日 海軍大臣</p>	<p>内令第八一四號 潜水隊編制中左ノ通改定セラル 昭和十九年七月三日 海軍大臣 第三十四潜水隊ノ項中「呂號第四十七」ノ下ニ「呂號第四十八」ヲ加フ (内令提要卷一、七〇頁参照)</p>
<p>内令第八一五號 昭和十八年内令第七百五十號掌水測兵(艦艇班)配員標準ノ件中左ノ通改正ス 昭和十九年七月三日 海軍大臣 別表ヲ別表ノ如ク改ム (別表一葉添) (内令提要卷一、一九七頁参照)</p>	<p>内令第八一六號 第六十一號驅潛特務艇 右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定ム 昭和十九年七月三日 海軍大臣</p>	<p>内令第八一七號 昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス 昭和十九年七月三日 海軍大臣 横須賀防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第一百五十九號(横)」ノ次ニ「第六十一號(横)」ヲ加フ (内令提要卷三、四八ノ二頁参照)</p>

内 令

九五

1691

内 令

内令第八一八號

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル  
昭和十九年七月四日

驅逐艦 楡

海軍大臣

九五二

1692



<p>内令第八二二號ノ二 (後送分) 右本籍ヲ横須賀鎮守府ト假定ス 昭和十九年七月一日 海軍大臣</p>	<p>内令第八一九號 掃海隊編制申左ノ通改定セラレ 昭和十九年七月五日 海軍大臣</p> <p>第一掃海隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ 第二十二掃海隊 第三十八號、第三十九號 (内令提要卷一、七二頁参照)</p>	<p>内令第八二〇號 昭和十二年内令第五二五號見張教範中附表ヲ別表ノ通改正ス 昭和十九年七月五日 海軍大臣</p> <p>(別表) 葉添</p>	<p>内令第八二三號 (後送ス)</p>
<p>内令第八二三號 右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定ム 昭和十九年七月六日 海軍大臣</p> <p>第六十八號驅潛特務艇</p>	<p>内令第八二四號 昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス 昭和十九年七月六日 海軍大臣</p> <p>佐世保防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第六十號(佐)」ノ次ニ 「第六十八號(佐)」ヲ加フ (内令提要卷三、四八ノ二頁参照)</p>	<p>内令第八二五號 昭和二年内令第二百三十九號海軍軍樂隊配置表ノ件申左ノ通改正ス 昭和十九年七月六日 海軍大臣</p> <p>表中第二艦隊司令部ノ項ヲ削ル (内令提要卷一、二四九頁参照)</p>	

内令

九五三



内令第八二六號

伊號第四百四潜水艦

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

昭和十九年七月七日

海 軍 大 臣

内令第八二七號

第七百七十八號驅潛特務艇

右本籍ヲ吳鎮守府ト定ム

昭和十九年七月七日

海 軍 大 臣

内令第八二八號

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年七月七日

海 軍 大 臣

佐伯防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第七百七十七號(吳)」ノ次ニ「第七百七十八號(吳)」ヲ加フ

(内令提要卷三、四八ノ二一頁参照)

○正誤

本年内令第七七九號(九三七頁上欄)中「伊三百五十一型」ハ「伊百七十六型」ノ、同「第三十四號」ハ「第五十六號」ノ、

同内令第七八一號中「六月二十三日」ハ「六月二十二日」ノ孰モ誤

(別表)

見張用眼鏡要目表

(昭和十九年内令第八二〇號)

品名	型式	對物鏡ノ直徑(糎)	倍力	射出瞳徑(糎)	俯視角(度)	實視界	
						度分	分割數
十八種 双眼望遠鏡	變雙倍眼	一八〇	二二・五〇	八・〇〇	／	二二〇	三四・九
十五種 双眼望遠鏡	雙眼	一五〇	一八・八	八・〇	／	三〇〇	四三・六
十二種 双眼望遠鏡	同	一二〇	二二〇	六・〇	／	三〇〇	五二・四
同	同	同	一五	八・〇	／	四〇〇	同
十二種 高角 双眼望遠鏡	俯雙視眼	同	二〇	六・〇	二四五	三〇〇	五二・四
八種 双眼望遠鏡	雙眼	八〇	一五	五・六	／	四〇〇	六九・八
八種 高角 双眼望遠鏡	俯雙視眼	同	同	同	七四五	四〇〇	六九・八
六種 高角 双眼望遠鏡	同	六〇	七・五	八・〇	四五	八〇〇	一三九・六
十倍 稜鏡 双眼鏡	雙眼	五〇	一〇	五・〇	／	七〇〇	一〇二・七
七倍 稜鏡 双眼鏡	ノバ	五〇	七・〇	七・二	／	七〇〇	一二四・五
六倍 稜鏡 双眼鏡	同	四二	六・〇	七・〇	／	八一六	一四九・二

1696

<p>内令第八二九號 海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又原駐基地ノ件中左ノ通改正セラル 昭和十九年七月十日 海軍大臣</p>	<p>横須賀鎮守府ノ部中名古屋海軍航空隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ 豊橋海軍航空隊 愛知縣渥美郡 佐世保鎮守府ノ部中鹿屋海軍航空隊ノ項ヲ削ル (内令提要卷一、三〇ノ三九頁参照)</p>	<p>内令第八三〇號 海軍練習航空隊ニ指定ノ件中左ノ通改正セラル 昭和十九年七月十日 海軍大臣</p> <p>「鹿屋海軍航空隊」ヲ「豊橋海軍航空隊」ニ改ム (内令提要卷一、三〇ノ四二ノ一頁参照)</p>	<p>内令第八三一號 昭和十八年内令第二千五十五號海軍練習航空隊ノ所掌事項ノ件中左ノ通改正ス 昭和十九年七月十日 海軍大臣</p>
<p>「鹿屋海軍航空隊」ヲ「豊橋海軍航空隊」ニ改ム (内令提要卷一、三〇ノ四三頁参照)</p>	<p>内令第八三三號 海軍衣糧廠處務規程中左ノ通改正ス 昭和十九年七月十日 海軍大臣</p> <p>第九條第一號中「糧食」ノ下ニ「、戰時特別給與品」ヲ、同條第二號乃至第四號中「糧食」ノ下ニ「及戰時特別給與品」ヲ加フ (内令提要卷一、三〇ノ三四ノ二頁参照)</p>	<p>内令第八三三號 艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス 昭和十九年七月十日 海軍大臣</p> <p>軍艦、砲艦橋立型ノ項中「橋立、」ヲ削ル 驅逐艦、一等神風型ノ項中「、朝風」ヲ、同夕雲型ノ項中「風雲、」ヲ、同二等若竹型ノ項中「、刈萱」ヲ削ル 潜水艦、一等伊十七型ノ項中「、伊號第二十七」ヲ、同伊百六十八型ノ項中「、伊號第七十五」ヲ、同伊百七十六型ノ項中「伊號第七十六、」ヲ、伊號第八十」ヲ、同二等呂三十五型ノ項中「、呂號第四十五」ヲ削ル</p>	

内 令

九五五

1697

海防艦、占守型ノ項中「石垣」「登岐」ヲ、御藏型ノ項中「淡路」ヲ削ル  
 輸送艦、一等第一號型ノ項中「第八號」ノ下ニ「第九號、第十號」ヲ加フ

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令第八三四號

特務艦類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年七月十日

海 軍 大 臣

運送艦、足摺型ノ項中「足摺」ヲ、同洲埼型ノ項中「高崎」ヲ削ル

(内令提要卷三、四一頁参照)

内令第八三五號

特務艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年七月十日

海 軍 大 臣

特務艇、驅潛特務艇第一號型ノ項中「第二百十五號」ノ下ニ「第二百十六號、第二百十七號、第二百十八號、第二百十九號、第二百二十號、第二百二十一號、第二百二十二號、第二百二十三號、第二百二十四號、第二百二十五號」ヲ、同魚雷艇第十號型ノ項中「第十六號」ノ下ニ「第十七號、第十八號」ヲ

加フ

(内令提要卷三、四三頁参照)

内令第八三六號

昭和十八年内令第二千二百二十三號中左ノ通改正シ昭和十九年六月二十日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年七月十日

海 軍 大 臣

第二海軍航空廠給工場ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第二海軍航空廠河和補給工場 愛知縣知多郡河和町

(参照) 昭和十八年内令第二千二百二十三號ハ航空兵器供給所ノ名稱及所在地ノ件ナリ

<p>内令第八三七號 (所要ノ向ニ配付ス)</p>	<p>内令第八三八號 驅逐隊編制中左ノ通改定セラル 昭和十九年七月十日 海軍大臣</p> <p>第四驅逐隊ノ項中「滿潮」ノ下ニ「朝雲」ヲ加フ 第十驅逐隊ノ項ヲ削ル (内令提要卷一、六八頁参照)</p>	<p>内令第八三九號 潛水隊編制中左ノ通改定セラル 昭和十九年七月十日 海軍大臣</p> <p>第十二潛水隊ノ項ヲ削ル 第十五潛水隊ノ項中「伊號第五十三」ノ下ニ「伊號第五十四、 伊號第五十五」ヲ加フ 第二十二潛水隊ノ項中「伊號第百八十、」ヲ削ル 第三十四潛水隊ノ項中「呂號第四十五、」ヲ削ル (内令提要卷一、七〇頁参照)</p>	<p>内令第八四〇號 海防隊編制中左ノ通定メラル 昭和十九年七月十日 海軍大臣</p>
<p>第一海防隊 千振、第十七號、第十九號</p>	<p>内令第八四一號 特設聯合通信隊編制中左ノ通改定セラル 昭和十九年七月十日 海軍大臣</p> <p>第三聯合通信隊ノ項中 「第二十」通信隊ノ次ニ「第三十一」通信隊ヲ加フ (内令提要卷一、一五六頁参照)</p>	<p>内令第八四二號 右帝國軍艦籍ヨリ除カル 橫須賀鎮守府在籍 軍艦 橋立 橫須賀鎮守府在籍 驅逐艦 風雲 佐世保鎮守府在籍 驅逐艦 朝風 舞鶴鎮守府在籍 驅逐艦 刈萱 右帝國驅逐艦籍ヨリ除カル 吳鎮守府在籍 伊號第二十七潛水艦</p>	<p>九五七</p>

<p>右帝國潛水艦籍ヨリ除カル</p> <p>伊號第七十五潛水艦 伊號第七十六潛水艦 佐世保鎮守府在籍 伊號第八十潛水艦 舞鶴鎮守府在籍 呂號第四十五潛水艦</p> <p>吳鎮守府在籍 海防艦 壹岐 海防艦 淡路 海防艦 石垣 舞鶴鎮守府在籍 海防艦 石垣</p>	<p>右帝國海防艦籍ヨリ除カル</p> <p>橫須賀鎮守府在籍 特務艦 足摺 特務艦 高崎</p> <p>右帝國特務艦籍ヨリ除カル</p> <p>昭和十九年七月十日</p> <p>海軍大臣</p>	<p>内令第八三號</p> <p>吳鎮守府豫備潛水艦 伊號第三十三潛水艦</p> <p>右第四豫備潛水艦ト定ム</p> <p>昭和十九年七月十日</p> <p>海軍大臣</p>
<p>内令第八四號</p> <p>右佐世保鎮守府所管ト定メラル</p> <p>昭和十九年七月十日</p> <p>海軍大臣</p> <p>第三百三十二號特設輸送艦</p>	<p>内令第八五號</p> <p>右本籍ヲ橫須賀鎮守府ト定ム</p> <p>昭和十九年七月十日</p> <p>海軍大臣</p> <p>第百八十二號驅潛特務艇 第百八十三號驅潛特務艇 第百八十八號驅潛特務艇</p>	<p>内令第八六號</p> <p>昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス</p> <p>昭和十九年七月十日</p> <p>海軍大臣</p> <p>橫須賀防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第百七十二號(横)」ノ次ニ「第百八十二號(横)、第百八十三號(横)」ヲ加フ 佐伯防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第百八十七號(吳)」ノ次ニ「第百八十八號(吳)」ヲ加フ</p> <p>(内令提要卷三、四八ノ二頁参照)</p>

1700

内令第八四七號  
海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地ノ件申左ノ通改  
正セラル

昭和十九年七月十日

海軍大臣

横須賀鎮守府ノ部中父島海軍航空隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

關東海軍航空隊	千葉縣 木更津市
南方諸島海軍航空隊	硫黃島
マリアナ海軍航空隊	大宮島
東カロリン海軍航空隊	トラツク

同部中第一〇二二海軍航空隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第一〇二二海軍航空隊	木更津航空基地 (千葉縣木更津市)
------------	----------------------

同部中第一二二海軍航空隊、第二〇二海軍航空隊、第三〇一海軍航空隊、第三二二海軍航空隊、第三三二海軍航空隊、第五〇一海軍航空隊、第五〇三海軍航空隊、第五二二海軍航空隊、第五二二海軍航空隊、第五二三海軍航空隊及第五二四海軍航空隊ノ各項ヲ削ル

吳鎮守府ノ部中築城海軍航空隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

西カロリン海軍航空隊	パヲオ
菲島海軍航空隊	吳軍港

内令

同部中第三二海軍航空隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第一三一海軍航空隊	松山航空基地(愛媛縣溫泉郡)
-----------	----------------

同部中第三四三海軍航空隊、第三四五海軍航空隊、第五四一海軍航空隊及第七三二海軍航空隊ノ各項ヲ削ル

佐世保鎮守府ノ部中沖繩海軍航空隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

九州海軍航空隊	鹿兒島縣 鹿屋市
南西諸島海軍航空隊	沖繩縣 島尻郡 新原町
臺灣海軍航空隊	臺灣新竹市
臺北海軍航空隊	鹿屋航空基地 (鹿兒島縣鹿屋市)

同部中第一五一海軍航空隊、第二五一海軍航空隊、第二五三海軍航空隊、第二六一海軍航空隊、第二六三海軍航空隊、第二六五海軍航空隊、第三六一海軍航空隊、第五五一海軍航空隊、第六五二海軍航空隊、第七五一海軍航空隊、第七五三海軍航空隊及第七五五海軍航空隊ノ各項ヲ削ル

(内令提要卷一、三〇ノ三九頁参照)

内令第八四八號

昭和十八年内令第十二號航空基地管理ニ關スル件申左ノ通改正ス

昭和十九年七月十日

海軍大臣

九五九

1701

表ヲ左ノ如ク改ム

内令

大分航空基地	松山航空基地	崇山航空基地	南島航空基地	硫黄島航空基地	八丈島航空基地	第二鈴鹿航空基地	明治航空基地	厚木航空基地	横濱航空基地	木更津航空基地	茂原航空基地	香取航空基地	松島航空基地	三澤航空基地	樺山航空基地	北海道、千島及樺太所在ノ航空基地	航空基地	管理部隊
横須賀海軍航空隊	松山海軍航空隊	第二美保海軍航空隊	南方諸島海軍航空隊			關東海軍航空隊		第一〇八一海軍航空隊	第八〇一海軍航空隊		關東海軍航空隊			大湊海軍航空隊			第十二航空艦隊	
東港航空基地	嶺中航空基地	嶺東航空基地	新竹航空基地	嶺北航空基地	南四諸島水上航空基地	南四諸島陸上航空基地	濟州島航空基地	元山航空基地	指宿航空航空基地	種子島航空基地	笠ノ原航空基地	鹿屋航空基地	鹿兒島航空基地	富高航空基地				
第九五三海軍航空隊	虎尾海軍航空隊		臺灣海軍航空隊		沖繩海軍航空隊	南四諸島海軍航空隊	大村海軍航空隊		第四五三海軍航空隊				九州海軍航空隊	築城海軍航空隊				

(内令提要卷一、三〇ノ四一頁参照)

九六〇



<p>内令〔自第八四九號至第八五五號〕（後送ス）</p>	<p>内令第八五六號</p>	<p>右本籍ヲ横須賀鎮守府卜定メラル 海防艦 昭 南</p>	<p>横須賀鎮守府在籍 海防艦 昭 南</p>	<p>右警備海防艦卜定メラル 昭和十九年七月十三日 海 軍 大 臣</p>	<p>内令第八五七號</p>	<p>右本籍ヲ舞鶴鎮守府卜定ム 昭和十九年七月十四日 海 軍 大 臣</p>	<p>第八百八十四號驅潛特務艇</p>	<p>内令第八五八號</p>	<p>昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス 昭和十九年七月十四日 海 軍 大 臣</p>	<p>舞鶴防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第八百七十二號（舞）」ノ次「第八百八十四號（舞）」ヲ加フ （内令提要卷三、四八ノ二一頁参照）</p>									
<p>内令第八五九號</p>	<p>艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス 昭和十九年七月十五日 海 軍 大 臣</p>	<p>水雷艇、鴻型ノ項中「鴻」ヲ削ル （内令提要卷三、三三頁参照）</p>	<p>内令第八六〇號</p>	<p>特設通信隊及同分遣隊所在地、種別等ノ件申左ノ通改正セラル 昭和十九年七月十五日 海 軍 大 臣</p>	<p>横須賀鎮守府ノ部中占守通信隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ</p>	<table border="1"> <tr> <td>父島通信隊</td> <td>父島</td> <td>甲、丙、戊</td> <td>第一分遣隊</td> <td>父島</td> <td>乙</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>第二分遣隊</td> <td>父島</td> <td>丁</td> </tr> </table>	父島通信隊	父島	甲、丙、戊	第一分遣隊	父島	乙				第二分遣隊	父島	丁	<p>（内令提要卷一、六四頁参照）</p>
父島通信隊	父島	甲、丙、戊	第一分遣隊	父島	乙														
			第二分遣隊	父島	丁														

内 令

九六一

1703

<p>内令第八四九號（後送分） 昭和十九年内令第四百三十九號別表中左ノ通改正ス 昭和十九年七月十日</p> <p>海軍大臣</p>	<p>第二魚雷艇隊ノ項中 横須賀鎮守府 13 243 244 248 252 253 12 13 15 16 17 22 23 24 25 26 ニ改ム</p> <p>第三魚雷艇隊ノ項中「244」、「13」及「15」ヲ削ル （内令提要卷三、四八ノ二七頁参照）</p>	<p>内令第八五〇號（後送分） 右本籍ヲ佐世保鎮守府ト假定ス 昭和十九年七月十日</p> <p>海軍大臣</p>	<p>内令第八五一號（後送分） 右本籍ヲ横須賀鎮守府ト假定ス</p> <p>第二百十七號驅潛特務艇 第二百十九號驅潛特務艇 第二百二十五號驅潛特務艇</p>
<p>右本籍ヲ吳鎮守府ト假定ス 第二百二十號驅潛特務艇 第二百二十二號驅潛特務艇 第二百二十一號驅潛特務艇</p>	<p>右本籍ヲ大阪警備府ト假定ス 第二百十八號驅潛特務艇 右本籍ヲ鎮海警備府ト假定ス 第二百十六號驅潛特務艇 第二百二十三號驅潛特務艇 第二百二十四號驅潛特務艇</p>	<p>内令第八五二號（後送分） 特設監視艇隊編制中左ノ通改定セララル 昭和十九年七月十日</p> <p>海軍大臣</p>	<p>第三監視艇隊ノ項中「新洋丸」ヲ削ル 第四監視艇隊ノ項中「大鷗丸」ヲ削ル （内令提要卷一、一五三頁参照）</p>

内令

九六三

1704



<p>右特設運送船(給油船) トシ吳鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク</p> <p>同 建川丸</p> <p>右特設運送船(給炭油船) トシ佐世保鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク</p> <p>同 第十八御影丸</p> <p>同 安州丸</p> <p>同 御嶽山丸</p> <p>同 長安丸</p>	<p>右特設運送船(雜用船) トシ橫須賀鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク</p> <p>同 水天丸</p> <p>同 昌平丸</p> <p>右特設運送船(雜用船) トシ吳鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク</p> <p>同 山陽丸</p> <p>同 白山丸</p> <p>右特設運送船(雜用船) トシ佐世保鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク</p> <p>同 山霜丸</p>	<p>右特設工作艦 トシ吳鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク</p> <p>昭和十九年七月十日</p> <p>海軍大臣</p>
<p>内令第八六一號</p> <p>海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地ノ件中左ノ通改正セラル</p> <p>昭和十九年七月十五日</p> <p>海軍大臣</p> <p>吳鎮守府ノ部中第三二海軍航空隊ノ項ヲ削ル</p> <p>(内令提要卷一、三〇ノ三九頁参照)</p>	<p>内令第八六二號</p> <p>海軍練習航空隊ニ指定ノ件中左ノ通改正セラル</p> <p>昭和十九年七月十五日</p> <p>海軍大臣</p> <p>「第三二海軍航空隊」ヲ削ル</p> <p>(内令提要卷一、三〇ノ四二ノ一頁参照)</p>	<p>内令第八六三號</p> <p>海軍練習航空隊ノ所掌事項ノ件中左ノ通改正ス</p> <p>昭和十九年七月十五日</p> <p>海軍大臣</p> <p>臺南海軍航空隊ノ項中「高雄海軍航空隊、」ヲ、筑波海軍航空隊乃至第三二海軍航空隊ノ項中、「第三二海軍航空隊」ヲ削ル</p> <p>(内令提要卷一、三〇ノ四三頁参照)</p>

内 令

九六五

1706

<p>内令第八六四號 (所要ノ向ニ配付ス)</p>	<p>内令第八六五號          驅逐隊編制中左ノ通改定セラル          昭和十九年七月十五日          海 軍 大 臣</p>	<p>第三十二驅逐隊ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ          第四十一驅逐隊 霜月、冬月          第四十三驅逐隊 梅、竹、松、桃          (内令提要卷一、六八頁参照)</p>	<p>内令第八六六號          第九號 輸送艦          第十號 輸送艦          右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル          昭和十九年七月十五日          海 軍 大 臣</p>	<p>内令第八六七號          第三百三十四號特設輸送艦          右佐世保鎮守府所管ト定メラル          昭和十九年七月十五日          海 軍 大 臣</p>
<p>内令第八六八號          汽 船 朝 日 丸          右特設運送船(雅用船)トシ吳鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク          昭和十九年七月十五日          海 軍 大 臣</p>	<p>内令第八六九號          第一百八十號驅潛特務艇          右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定ム          昭和十九年七月十七日          海 軍 大 臣</p>	<p>内令第八七〇號          昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス          昭和十九年七月十七日          海 軍 大 臣          横須賀防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第七十一號(横)」ノ次ニ          「第八十號(横)」ヲ加フ          (内令提要卷三、四八ノ二頁参照)</p>	<p>内令第八七一號          第四十一號掃海艇          右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル</p>	

1707

<p>佐世保鎮守府在籍 第四十一號掃海艇</p> <p>右掃海艇下定メラル 昭和十九年七月十七日</p> <p>海軍大臣</p>	<p>内令第八七二號 特設海軍航路部等ノ所管、所屬、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セラル</p> <p>昭和十九年七月十八日</p> <p>海軍大臣</p> <p>横須賀鎮守府所管中部太平洋方面艦隊ノ部「中部太平洋方面艦隊」ヲ「第四艦隊」ニ、第四海軍經理部ノ所在地ノ欄「サイパン」ヲ「トラツク」ニ改メ「第三十海軍工作部」バラオヲ削リ同部ノ次ニ左ノ如ク加フ</p> <p>第三南遣艦隊 第三十海軍工作部 バラオ</p> <p>(内令提要卷一、三八ノ三七頁参照)</p> <p>内令第八七三號 昭和十五年内令第六百四十六號特設海軍工作部等ノ所管區分等ノ件中左ノ通改正ス</p> <p>昭和十九年七月十八日</p>	<p>内令第八七四號 特設海軍航路部等ノ所管、所屬、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セラル</p> <p>昭和十九年七月十八日</p> <p>海軍大臣</p> <p>「第四海軍經理部」ト「ラツク」支部 「第四海軍經理部」ヲ「第百三海軍經理部」ニ、「第五海軍病院」バラオ支部ヲ「第百三海軍病院」ニ改ム</p> <p>(内令提要卷一、三八ノ四一頁参照)</p> <p>内令第八七五號 昭和十五年内令第六百四十六號特設海軍工作部等ノ所管區分等ノ件中左ノ通改正ス</p> <p>昭和十九年七月十八日</p> <p>海軍大臣</p>
--	---	---

内 令

九六七

南西方面海軍航空廠第二支廠ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

南西方面海軍航空廠  
第三支廠

スラバヤ

所在地方面各部ノ航空  
兵器ノ造修、保管及供  
給ニ關スル事項

南西方面海軍航空廠マニラ分工場ノ項ヲ削ル

「南東方面海軍航空廠」ヲ「南西方面海軍航空廠」ニ改ム  
「バラオ分工場」ヲ「バラオ分工場」ニ改ム

(内令提要卷一、三八ノ五〇頁参照)

内令第八七六號

横須賀鎮守府豫備海防艦

海防艦 福江

海防艦 天草

海防艦 能美

呉鎮守府豫備海防艦

第十二號 海防艦

佐世保鎮守府豫備海防艦

海防艦 隠岐

内令第八七七號

舞鶴鎮守府在籍

水雷艇 鴻

右帝國水雷艇籍ヨリ除カル

右警備海防艦ト定メラル  
昭和十九年七月十八日

海軍大臣

昭和十九年七月十八日

海軍大臣

内令第八七八號

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年七月十八日

海軍大臣

第六十一警備隊ノ項ヲ削ル

(内令提要卷三、四八ノ二一頁参照)

内令第八七九號

昭和十九年内令第四百三十九號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年七月十八日

海軍大臣

第二十三魚雷艇隊ノ項ヲ削ル

(内令提要卷三、四八ノ二七頁参照)

内令第八八〇號

汽船 第二日の丸

同 木津川丸

右特設運送船(雜用船)トシ横須賀鎮守府所管ト定メタル處之  
ヲ解ク

昭和十九年七月十八日

海軍大臣

<p>内令第八八一號 海軍航空隊令ノ特例ニ關スル件申左ノ通改正セラレ 昭和十九年七月十八日 海軍大臣</p> <p>末尾ニ左ノ二項ヲ加フ 大東亞戰爭中横須賀海軍航空隊ニ於テハ隊務遂行上ノ必要ニ 應ジ航空兵器ノ審査ニ關スルコトヲ掌ルコトヲ得 前項ノ場合ニ於テハ横須賀海軍航空隊ノ司令又ハ司令官ハ部 下ノ職員ヲシテ前項ノ事項ヲ分掌セシメ航空兵器ノ審査ニ關 シ海軍航空技術廠長ノ區處ヲ受クルモノトス (内令提要卷一、三〇ノ三八頁參照)</p>	<p>内令第八八二號 艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス 昭和十九年七月十八日 海軍大臣</p> <p>水雷艇、鴻型ノ項中「鴻、」ヲ削ル (内令提要卷三、三三頁參照)</p>	<p>内令第八八三號 二式爆發突教範別冊ノ通定ム 別冊ハ海軍文庫ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム 昭和十九年七月十八日 海軍大臣</p>	
<p>内令第八八四號 九二式魚雷改一教範草案別冊ノ通定メ之ヲ試行ス 別冊ハ海軍文庫ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム 昭和十九年七月十八日 海軍大臣</p>	<p>内令第八八五號 護衛要務教範草案別冊ノ通定メ之ヲ試行ス 別冊ハ海軍文庫ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム 昭和十九年七月十八日 海軍大臣</p>	<p>内令第八八六號 右本籍ヲ佐世保領守府ト定メラル 第二十一號海防艦 佐世保領守府在籍 第二十一號海防艦 昭和十九年七月十八日 海軍大臣</p>	<p>内令第八八七號 昭和十五年內令第五百九十號海軍理事官ノ配屬ノ件申左ノ通改 正ス 昭和十九年七月十八日 海軍大臣</p>

内 令

九六九

1710



昭和十九年七月二十日

海 軍 大 臣

第四號中「勅令第八百七十六號」ノ下ニ「及昭和十九年勅令第四百五十九號」ヲ、「海軍施設本部」ノ次ニ「海軍大學校」ヲ加ヘ「十八人」ヲ「三十七人（武功調査ニ配スベキモノヲ含ム）」ニ改ム

(内令提要卷一、二〇二頁参照)

内令第八八八號

第二十七號海防艦

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

佐世保鎮守府在籍

第二十七號海防艦

右警備海防艦ト定メラル

昭和十九年七月二十日

海 軍 大 臣

内令第八八九號

昭和十八年内令第二千五百六十六號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年七月二十日

海 軍 大 臣

第三南遣艦隊ノ項特設驅潛艇ノ欄「千年丸(舞)」ヲ削ル

(内令提要卷三、四八ノ二九頁参照)

内令第八九〇號

汽 船 千 年 丸

右特設驅潛艇トシ舞鶴鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

昭和十九年七月二十日

海 軍 大 臣

内令第八九一號

大正九年内令第二百七十三號敷設特務艇乘員標準等ノ件中左ノ

通改正ス

昭和十九年七月二十一日

海 軍 大 臣

魚雷艇乘員標準備考第四號ヲ第五號トシ第三號ノ次ニ左ノ如ク加フ

四 本表ノ外二十五糎機銃三基裝備ノモノニ在リテハ水兵一人ヲ置クコトヲ得

第一號軍艇型内火艇乘員標準備考末尾ニ左ノ如ク加フ

三 本表ノ人員ハ所屬艦ニ附トシテ臨時増置スルコトヲ得

(内令提要別冊八〇五頁参照)

○正誤

本年内令第八〇一號中「大湊警備府」ハ「大湊防備隊」ノ、本年内令第七七三號(九三五頁)中

東京都 硫黄島

三重縣 河藝郡

東京都 硫黄島

三重縣 鹿市白子町

ノ孰モ誤

<p>内令第六八一號ノ二 (後送分) 舞鶴鎮守府所管 特設運送艦 山東丸 右特設運送船(雜用船)ト改ム 昭和十九年五月十五日 海軍大臣</p>	<p>内令第八八八號ノ二 (後送分) 横須賀鎮守府在籍 海防艦 昭南 右本籍ヲ佐世保鎮守府ニ改定セララル 佐世保鎮守府在籍 海防艦 昭南 右警備海防艦ト定メララル 昭和十九年七月二十日 海軍大臣</p>	<p>内令第八九二號 伊號第二百一潜水艦 右本籍ヲ吳鎮守府ト定メララル 昭和十九年七月二十二日 海軍大臣</p>	<p>内令第八九四號 驅逐艦 桑 驅逐艦 楓 右本籍ヲ吳鎮守府ト定メララル 第六十一號海防艦 右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト定メララル 昭和十九年七月二十五日 海軍大臣</p>	<p>内令第八九五號 第三百三十五號特設輸送艦 右佐世保鎮守府所管ト定メララル 昭和十九年七月二十五日 海軍大臣</p>	<p>内令第八九六號 第一百九十號驅潛特務艇 第二百號驅潛特務艇 右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定ム 昭和十九年七月二十五日 海軍大臣</p>	<p>内令第八九七號 昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス 海軍大臣</p>
---	---	--	---	--	---	---

内 令

九七一

1712

内 令

昭和十九年七月二十五日

海 軍 大 臣

佐世保防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第百八十九號(佐)」ノ次ニ  
「第百九十號(佐)、第百號(佐)」ヲ加フ

(内令提要卷三、四八ノ二一頁參照)

九七二

1713

内令第八九三號 (後送分)

昭和十九年内令第四百三十九號別表申左ノ通改正ス

昭和十九年七月二十五日

海軍大臣

第二魚雷艇隊ノ項中「13」ノ上ニ「11」ヲ、「26」ノ下ニ「27」ヲ加フ

(内令提要卷三、四八ノ二七頁参照)

内令第八九八號

第五十六號驅潛艇

右本籍ヲ吳鎮守府卜定メラル

吳鎮守府在籍

第五十六號驅潛艇

右警備驅潛艇卜定メラル

昭和十九年七月二十六日

海軍大臣

内令第八九九號

海軍通信隊ノ所屬、名稱、所在地及種別ノ件申左ノ通改正セラ

昭和十九年七月二十七日

海軍大臣

横須賀鎮守府ノ部横須賀海軍通信隊ノ項中

八 文 丁

ヲ削ル

高雄警備府ノ部中

警備 丁

ヲ削ル

(内令提要卷一、三〇ノ四八頁参照)

内令第九〇〇號

特設通信隊及同分遣隊所在地、種別等ノ件申左ノ通改正セラル

昭和十九年七月二十七日

海軍大臣

横須賀鎮守府ノ部中父島通信隊ノ項ヲ左ノ如ク改ム

父島通信隊	父島	甲、丙、戊	第一分遣隊	夜明山	乙
			第二分遣隊	扇浦	丁

(内令提要卷一、六四頁参照)

内令第九〇一號

第九十一號驅潛特務艇

右本籍ヲ佐世保鎮守府卜定ム

昭和十九年七月二十八日

海軍大臣

内令第九〇二號

昭和十八年内令第八百三十三號別表申左ノ通改正ス

昭和十九年七月二十八日

海軍大臣

内 令

九七三

1714

佐世保防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第九十號(佐)」ノ次ニ「第九十一號(佐)」ヲ加フ

(内令提要卷三、四八ノ二一頁参照)

内令第九〇三號

緊急戰備促進部規程中左ノ通改正ス

昭和十九年七月二十八日

海軍大臣

第三條中「副部长」ヲ「幹事長」ニ改ム  
第五條 幹事長ハ部長ノ命ヲ承ケ部ニ關スル庶務事項ヲ統理ス  
第七條 主任幹事ハ幹事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル  
別表ヲ別表ノ如ク改ム

(昭和十九年内令第七九八號参照)

(別表)

部長	海軍大臣
次官	海軍省軍務局長
員	海軍省軍務局長 (兼幹事長)海軍省軍務局長 海軍省人事局長 海軍省教育局長 海軍省經理局長 海軍省航空本部長 海軍省電波本部長 海軍省施設本部長 海軍省運輸本部長

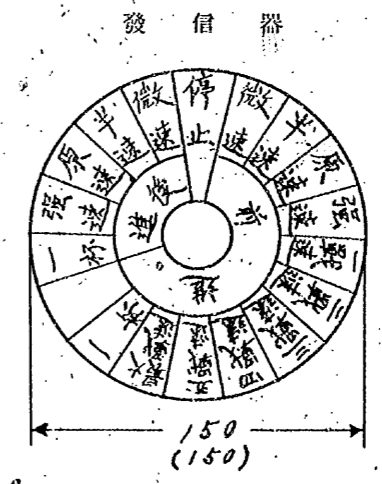
海軍省軍務局第一課長	海軍省軍務局第二課長	海軍省軍務局第三課長	海軍省兵備局第一課長	海軍省兵備局第二課長	海軍省人事局第一課長	海軍省人事局第二課長	海軍省人事局第三課長	海軍省教育局第一課長	海軍省經理局第一課長	海軍省經理局第二課長	海軍省經理局第三課長	海軍省航空本部長	海軍省電波本部長	海軍省施設本部長	海軍省運輸本部長
------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	----------	----------	----------	----------

幹事	海軍省軍務局第一課長	海軍省軍務局第二課長	海軍省軍務局第三課長	海軍省兵備局第一課長	海軍省兵備局第二課長	海軍省兵備局第三課長	海軍省人事局第一課長	海軍省人事局第二課長	海軍省人事局第三課長	海軍省教育局第一課長	海軍省經理局第一課長	海軍省經理局第二課長	海軍省經理局第三課長	海軍省航空本部長	海軍省電波本部長	海軍省施設本部長	海軍省運輸本部長
幹事輔佐	海軍省軍務局第一課長	海軍省軍務局第二課長	海軍省軍務局第三課長	海軍省兵備局第一課長	海軍省兵備局第二課長	海軍省兵備局第三課長	海軍省人事局第一課長	海軍省人事局第二課長	海軍省人事局第三課長	海軍省教育局第一課長	海軍省經理局第一課長	海軍省經理局第二課長	海軍省經理局第三課長	海軍省航空本部長	海軍省電波本部長	海軍省施設本部長	海軍省運輸本部長
備考	本表ノ外必要ニ應ジ部員及幹事ヲ命ズルコトアルベシ																

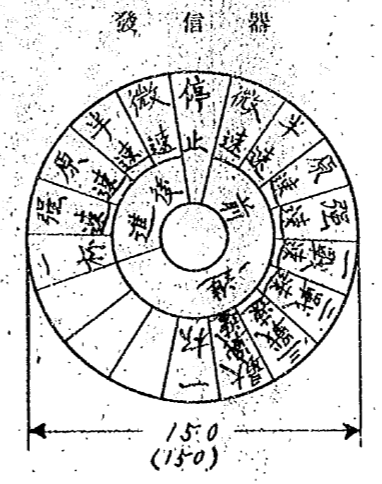
内令第九〇四號  
機關指揮裝置制式別冊中別圖第一、第二、第三、第八圖及別表  
第一、第二、第三、第四ヲ別紙ノ通改正ス  
昭和十九年七月二十八日  
海軍大臣  
(別紙四葉添)  
(内令提要卷三、一七一頁参照)

第一圖 速力通信器

甲 (戰艦、巡洋艦、航空母艦、水上機母艦、潜水母艦、練習巡洋艦、驅逐艦、水雷艇用)



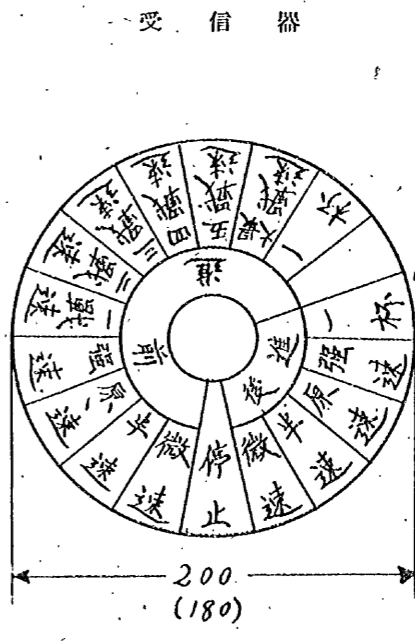
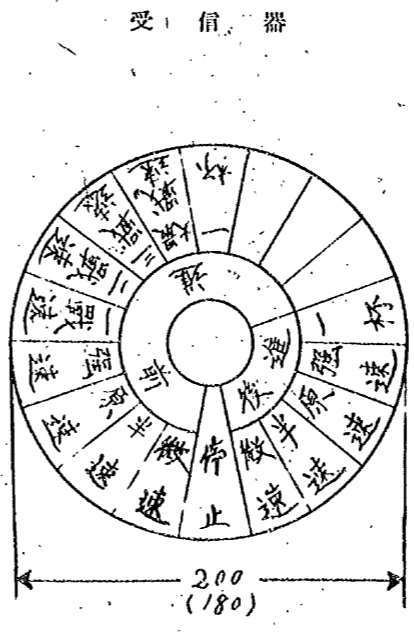
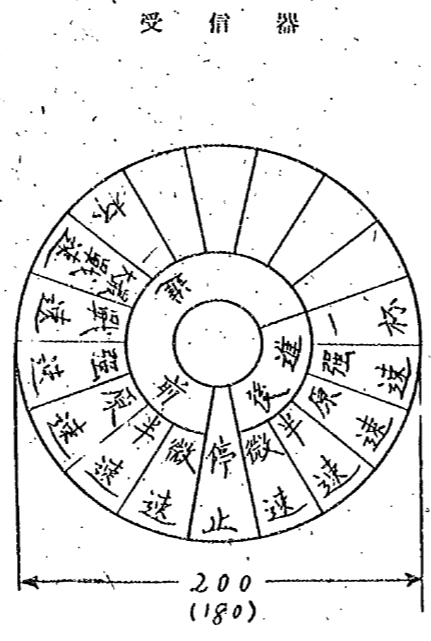
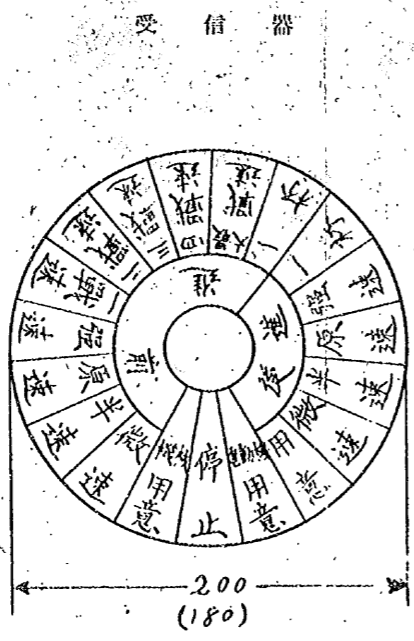
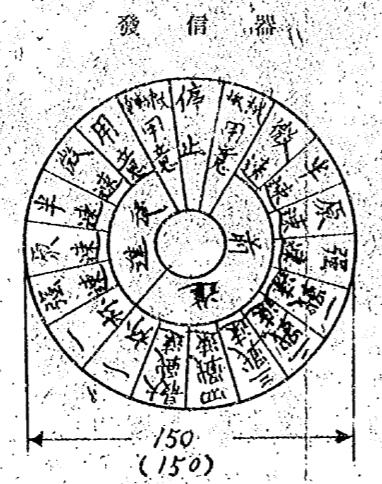
乙 (敷設艇、海防艇、掃海艇、哨戒艇、特務艇用)



丙 (砲艦、特務艇用)



丁 (潜水艇用)

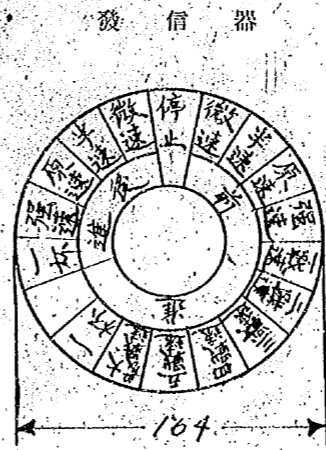


(昭和十九年内令第九〇四號)

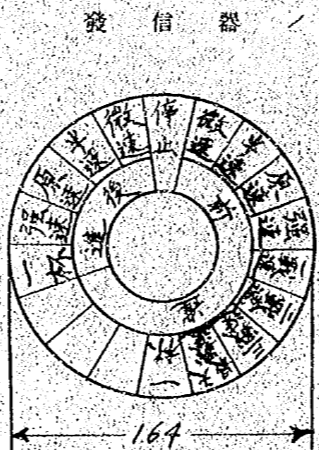
備考

- 一、水上艦艇ニシテ内火機械又ハピストン機械ノ主機械トスルモノニ在リテハ停止ト後進徹速ノ間ニ後進用意ヲ加フルモノトス此ノ場合前進側ノ空欄ハ設ケザルモノトス
- 二、文字板ノ照明ハ本器内部電燈ニ依ル透過照明トシ眩惑作用ヲ生ゼシメザル様考慮スルモノトス但シ艦橋ニ裝備スル受信器(機械的装置ノモノノミ)ニハ漏光遮閉板ヲ附シ又下部司令塔及機房室ニ裝備スルモノニ在リテハ室内照明ニ依ルモノトス
- 三、發信器ノ盤面ハ黒色トシ文字及區別線ハ透明白色トス但シ前進文字ノ區別内ハ綠色トシ後進文字ノ區別内ハ赤色トス
- 四、最大速力ノ程度ニ依リ適宜速力區分ヲ變更スルコトヲ得
- 五、受信器ノ停止ハ下方ニ位置セシムルモノトス
- 六、機械的装置ノ發信器ハ各號令毎ニハンドルヲ一回轉セシムルモノトス
- 七、括弧内ノ數字ハ豫備速力通信器ヲ示ス

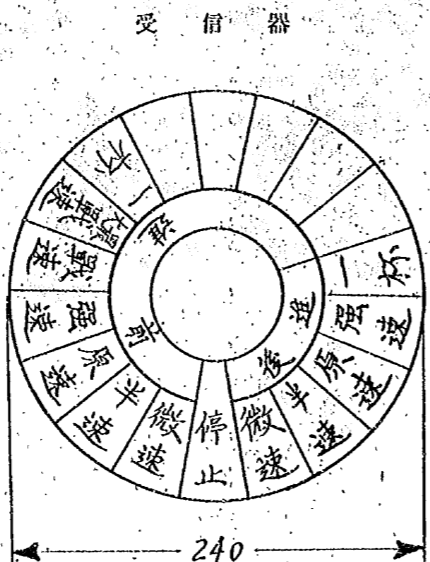
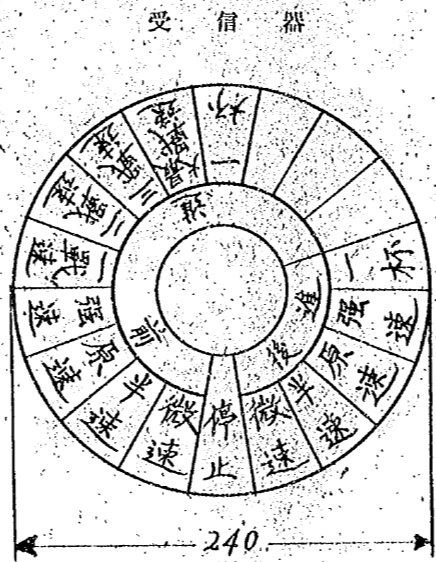
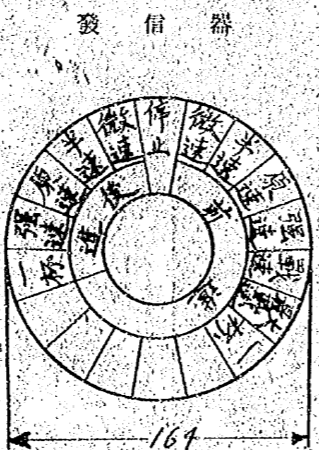
甲 (戰艦、巡洋艦、航空母艦、水上機母艦、潜水母艦、練習巡洋艦、驅逐艦、水雷艦、水雷艇用)



乙 (敷設艦、海防艦、掃海艇、哨戒艇、特務艇用)



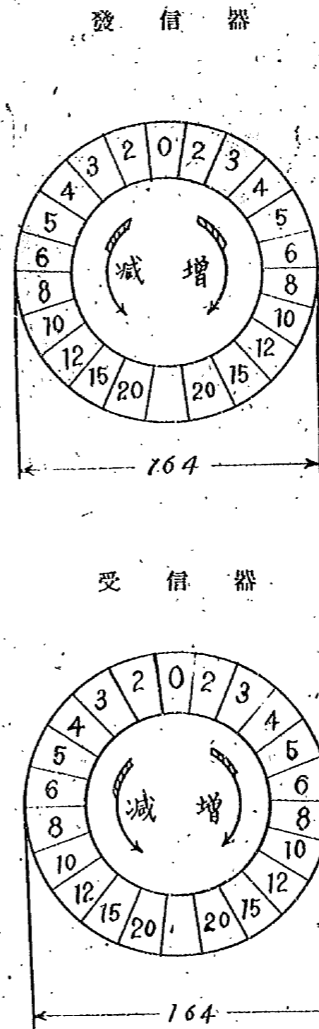
丙 (砲艦、特務艦用)



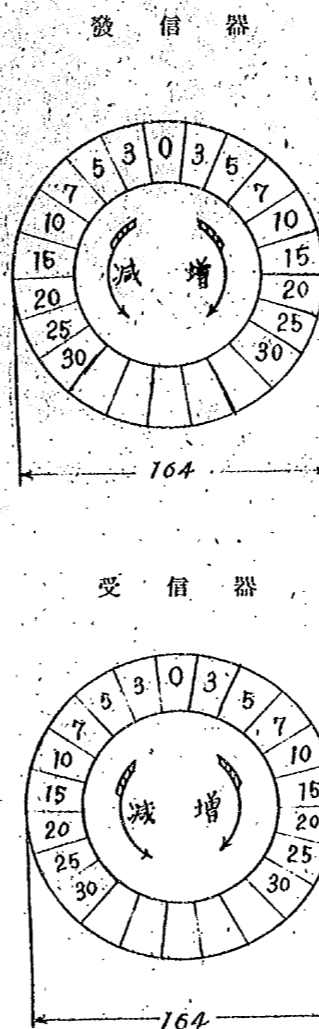
備考

- 一 水上艦艇ニシテ内火機又ハピストン機械ヲ主機械トスルモノニ在リテハ停止ト後進微速ノ間ニ後進用意ヲ加フルモノトス此ノ場合前進側ノ空欄ハ設ケザルモノトス
- 二 受信器ノ停止ハ下方ニ位置セシムルモノトス
- 三 盤面ハ黑色トシ前進及停止ニ屬スル文字並ニ區劃線ハ白色トシ後進ニ屬スル文字ハ淡赤色トス

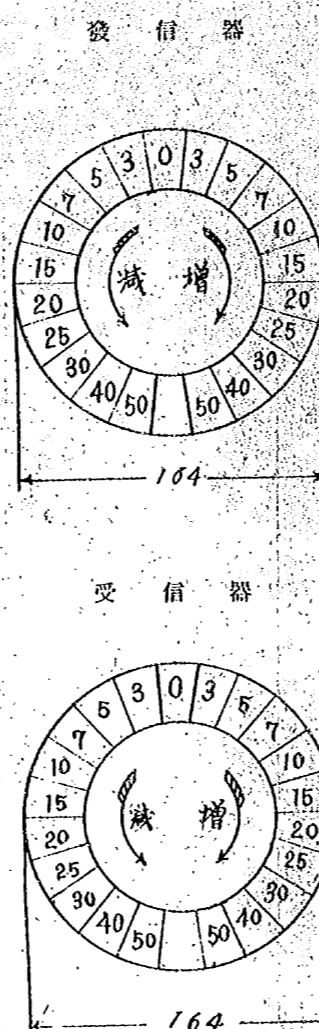
甲 (戰艦、公試排水量二五〇〇〇噸以上ノ航空母艦用)



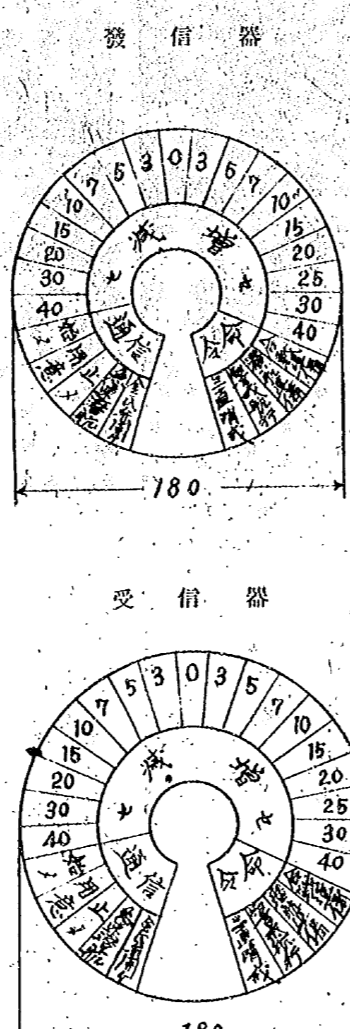
乙 (巡洋艦、公試排水量二五〇〇〇噸未滿ノ航空母艦、水上機母艦、潜水母艦、敷設艦、砲艦、練習巡洋艦、海防艦、掃海艇、哨戒艇、特務艇用)



丙 (驅逐艦、水雷艇、驅潛艇用)



丁 (潜水艦用)



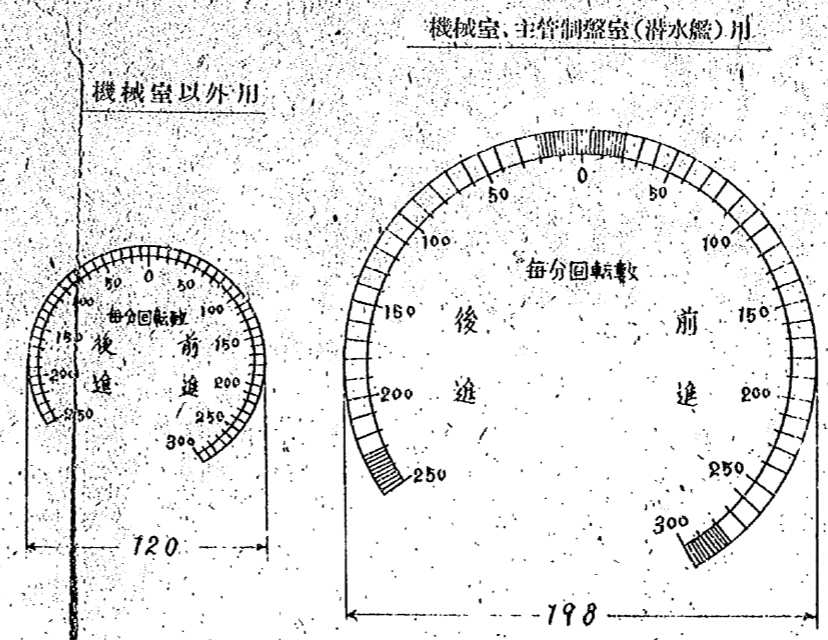
備考

- 一 文字板ノ照明ハ本器内部電燈ニ依ル透過照明トシ眩惑作用ヲ生ゼシメザル様考慮スルモノトス但シ下部司令塔ニ裝備ノモノ及受信器ニ在リテハ透過照明トセス室内照明ニ依ルモノトス
- 二 文字盤面數字ハ水平ニ記入スルモノトス
- 三 文字盤面ハ黒色トシ文字、數字及矢標並ニ區劃線ハ増セニ屬スルモノハ白色トシ減セニ屬スルモノハ赤色トス但シ丁ノ盤面ハ白色トシ減セニ屬スル文字、數字及區劃線ハ赤色トシ其ノ他ニ屬スル文字、數字及區劃線ハ總テ黒色トス
- 四 砲艦、海防艦、掃海艇、哨戒艇及特務艇ニシテ其ノ主機械ニタービン又ハ内火機械ヲ裝備スルモノニ在リテハ丙ヲ使用スルコトヲ得



電壓回轉速度計 受信器

(昭和十九年内令第九〇四號)



- 備考
- 一 文字盤之面ハ黑色トス
  - 二 文字、數字、目盛ハ後進ニ屬スル部ヲ赤色トシ前進ニ屬スル部ハ白色トス
  - 三 數字ハ水平ニ記入スルモノトス
  - 四 最大目盛ハ次ノ五種トス

種別	前進	後進
一	二〇〇	一五〇
二	三〇〇	二五〇
三	四〇〇	三〇〇
四	五〇〇	四〇〇
五	六〇〇	四五〇